



平成 26 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名	株式会社キトー	
代 表 者 名	代表取締役社長	鬼頭 芳雄
コード番号	6409 (東証 第一部)	
問 合 せ 先	取締役 執行役員 経営管理本部長	遅澤 茂樹
	TEL : 03-5908-0161	

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想、及び平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,700	1,400	1,350	800	30.64
今回発表予想 (B)	18,400	855	892	504	19.31
増 減 額 (B-A)	△1,300	△545	△458	△296	
増 減 率 (%)	△6.6	△38.9	△33.9	△37.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	17,657	1,166	1,200	744	28.79

(2) 通期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,000	4,700	4,600	2,900	111.08
今回発表予想 (B)	50,000	4,800	4,600	3,100	118.67
増 減 額 (B-A)	4,000	100	—	200	
増 減 率 (%)	8.7	2.1	—	6.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	41,855	4,006	4,094	2,361	91.25

注) 当社は、平成 26 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、第 2 四半期累計期間と通期の
1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

第2四半期累計期間は、全般的な好調を維持する米国市場が業績をけん引し、日本国内市場では建築土木関連や民間の設備投資とも受注が堅調でした。一方で、アジア、中国市場の成長の減速が顕著となり、とくにアジアではタイでの不安定な政治情勢の影響を受けることとなりました。その結果、売上高は前年同期比で増収となるものの、前回予想に届かない見通しとなりました。営業利益、経常利益、四半期純利益については、中期経営計画の達成に向けての本部ならびに子会社の組織強化費用や、期間末の急激な円安のために発生した在庫評価に関わる会計処理上の損失を、売上高の伸長にてカバーするに至らず、前年同期比で減益となり、前回予想を下回る見込みです。

通期の業績については、第3四半期以降も、アジア、中国市場は当初予想に反して弱含むものの、当社グループにとり2大市場である北米市場、国内市場とも堅調な需要を見込むこと、国内・海外市場とも期末に向けて売上高が集中する傾向がとりわけ今年度顕著であること、平成26年8月21日に全株式取得を完了した米国子会社 PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC.（以下、PEERLESS 社）の平成26年10月1日以降の業績予想を取り込むこと、などから通期の業績予想を上方修正いたします。

PEERLESS 社は北米最大のチェーン製造会社であり、当社ホイスト製品の品質を担保する上で最も重要な部品であるチェーンの生産を強化し効率化するとともに、吊り具などホイスト製品の周辺機器であるチェーンの品揃えを拡充することで、当社事業にシナジーを見込むものです。

なお第3四半期以降の為替レートについては、当面円安基調で推移することが予想されるため、期初に定めた1ドル95円から、105円に見直すことといたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上